

『歯みがきよ～いどん』

1、作製目的

- ・歯科保健指導の導入に使用。
- ・歯ブラシの使い方、縦磨きの方法の指導教材。
- ・デンタルフロスの使い方の指導教材。

2、材料

< 歯列 >



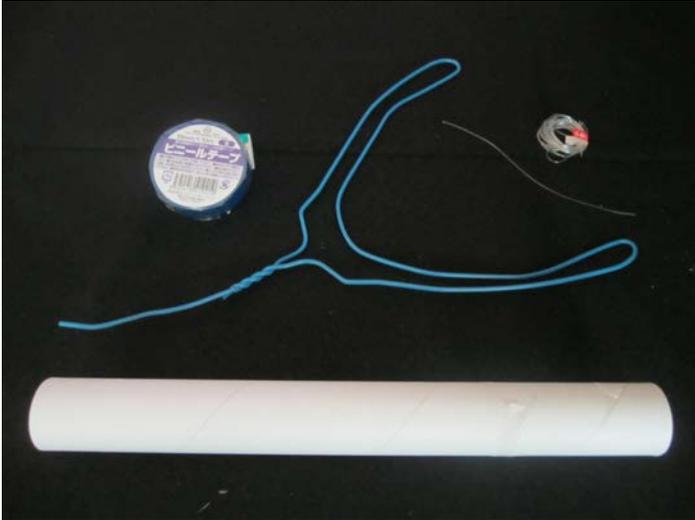
- ① 丸いビン(450ml170 mm)・・・8個(金属製の蓋付きの物)
- ② 板(H150 mm×W600mm×D13mm)・・・2枚(土台用)
- ③ 板(H120 mm×W600mm×D13mm)・・・2枚(唇用)
- ③ ネジ・・・16本
- ④ ナット・・・16個
- ⑤ ワッシャー・・・32個(板の上下に使用)
- ⑥ フェルト(赤)(H60×W70)
- ⑦ ラッカースプレー(白)
- ⑧ 釘(3本)
- ⑨ 金づち
- ⑩ のこぎり
- ⑪ やすり
- ⑫ 木工用ボンド
- ⑬ ドリル
- ⑭ ドライバー
- ⑮ ホワイトボード用マーカー(極太用赤)

< 歯ブラシ >



- ① デッキブラシ(頭だけの物)・・・2個
 - ② 棒(H30 mm×W600 mm×D14 mm)・・・2本
 - ③ ラッカー(黄色)
 - ④ ラッカー薄め液
 - ⑤ 刷毛
 - ⑥ 釘
 - ⑦ 金づち
 - ⑧ やすり
- ※ラッカースプレーを使用する際には、④⑥は必要ない。

<デンタルフロス>



- ①ハンガー……………2本
- ②ラップの芯……………2本
- ③カラービニールテープ
- ④ナイロン糸

<あるとよい物>

- ①新聞紙
- ②セロハンテープ
- ③手袋
- ④マスク(ラッカー使用時)

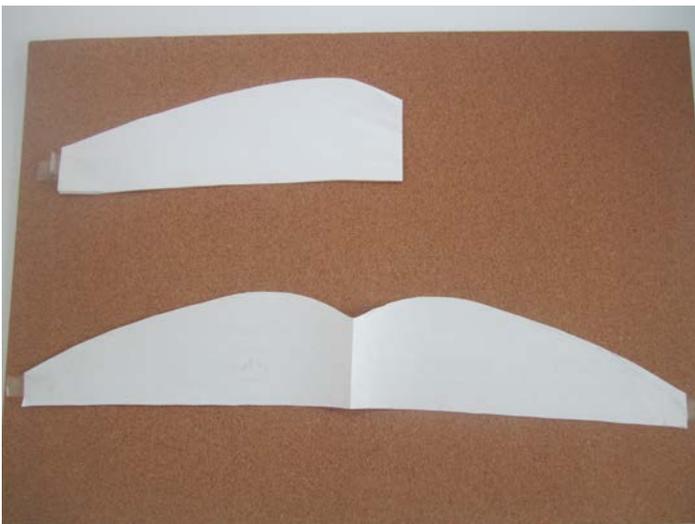
3、手順

<歯列>



1) 丸いビンの内側にラッカースプレー(白)を吹き付ける。

- (1)この時、外側に色が付かないように、新聞紙で覆っておくと良い。
- (2)スプレーを使用する場合、小さいビンほどきれいに色が塗布しにくいので、何度も重ねて吹き付けると、きれいに塗れる。



2) 唇を作る。

- (1)板(唇用2枚)をのこぎりで唇の形に切り、やすりで滑らか面取りする。
- (2)出来上がった唇に木工用ボンドでフェルトを貼り付ける。



3) 板(土台用)に、ビンの蓋を固定する。

- (1)ビンとビンの隙間が3~5mm程度になるように、位置を決める。(唇との間は、2cm空ける)
- (2)木工用ボンドで仮固定する。
- (3)ドリルで穴を開ける。
- (4)ネジ・ワッシャー・ボルトで固定する。



4) 2)を土台に固定する。

(1) 2)の左右・中央に釘を打つ。

(2) 釘の頭に余ったフェルトを貼り、目立たないように補正する。

5) 4)にピンを付けて**完成!**

<歯ブラシ>



1) デッキブラシにやすりをかけ、ラッカーが付着しやすいようにしておく。

2) 把柄部にやすりをかけて角を取り、把持しやすいようにする。

3) デッキブラシおよび把持棒にラッカーで色を塗る。

(1) デッキブラシのブラシ部分に色が付かないように、新聞紙で覆っておくと良い。

4) デッキブラシと把持棒を釘で固定して**完成**。

<デンタルフロス>



1) ワイヤーハンガーをデンタルフロスの形に曲げる。

2) 1)の持ち手の部分を、ラップの芯に差し込む。

3) 2)にカラービニールを巻き、固定する。

4) **左右の輪になっている部分**にナイロン糸を緊張するくらいに張り、**完成**。

4、活用方法



ホワイトボード用マーカーで、人工プラークを付着させます。

※極太用マーカーが使いやすいです。

※以下のように作業すると、ムラなく塗れ取り付けやすいです。

- ① 歯(ビン)を本体から外す
- ② 歯と歯の間にくる部分を着色する
- ③ 本体に歯を取り付ける
- ④ 残りの部分を着色する



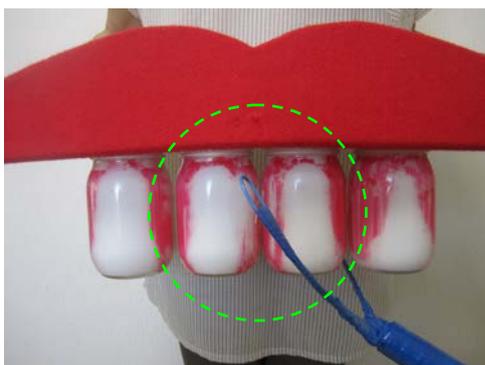
横みがきをすれば、歯の表面の汚れがとれます。

※教材は、両手で持ちわきをしめ、腹部で支えるくらいの高さが適当です。高すぎると、縦みがきをしてしまう場合があります。



歯と歯の間の汚れは、歯ブラシを縦にして使います。

※教材の高さを少し上げると、縦みがきの動作がしやすくなります。



デンタルフロスを使って、残った汚れをとります。